

49th INTERNATIONAL MATHEMATICAL OLYMPIAD
MADRID (SPAIN), JULY 10-22, 2008

2008年7月16日(水)

問題 1. 鋭角三角形 ABC の垂心を H とし、中心が BC の中点であって H を通る円と直線 BC との交点を A_1, A_2 とする。同様に、中心が CA の中点であって H を通る円と直線 CA との交点を B_1, B_2 とし、中心が AB の中点であって H を通る円と直線 AB との交点を C_1, C_2 とする。このとき、 $A_1, A_2, B_1, B_2, C_1, C_2$ は同一円周上にあることを示せ。

問題 2. (a) $xyz = 1$ をみたす 1 でない実数 x, y, z に対し、

$$\frac{x^2}{(x-1)^2} + \frac{y^2}{(y-1)^2} + \frac{z^2}{(z-1)^2} \geq 1$$

が成り立つことを示せ。

(b) $xyz = 1$ をみたす 1 でない有理数 x, y, z の組であって、上の不等式の等号を成立させるものが無数に存在することを示せ。

問題 3. 次の条件をみたす正の整数 n が無数に存在することを示せ。

条件： $n^2 + 1$ は $2n + \sqrt{2n}$ より大きい素因数を持つ。

49th INTERNATIONAL MATHEMATICAL OLYMPIAD
MADRID (SPAIN), JULY 10-22, 2008

2008年7月17日(木)

問題 4. 関数 $f : (0, \infty) \rightarrow (0, \infty)$ (正の実数に対して定義され、正の実数値をとる関数 f) であって、次の条件をみたすものをすべて求めよ。

条件 : $wx = yz$ をみたす任意の正の実数 w, x, y, z に対して、

$$\frac{(f(w))^2 + (f(x))^2}{f(y^2) + f(z^2)} = \frac{w^2 + x^2}{y^2 + z^2}$$

が成立する。

問題 5. 正の整数 n, k は $k \geq n$ をみたし、 $k - n$ は偶数である。 $1, 2, \dots, 2n$ の番号がついた $2n$ 個の電球があり、各々は on または off の状態をとる。最初はすべての電球が off になっている。1つの電球の状態を入れ替える (on ならば off に、off ならば on にする) ことを **操作** という。

k 回の操作の後、電球 $1, \dots, n$ が on、電球 $n+1, \dots, 2n$ が off となるような k 回の操作のやり方は N 通りあるとする。

k 回の操作の後、電球 $1, \dots, n$ が on、電球 $n+1, \dots, 2n$ が off となるような k 回の操作のやり方であって、電球 $n+1, \dots, 2n$ が一度も on になることのないものは M 通りあるとする。

このとき、 $\frac{N}{M}$ を求めよ。

問題 6. 凸四角形 $ABCD$ について、 $BA \neq BC$ が成り立つ。三角形 ABC, ADC の内接円をそれぞれ ω_1, ω_2 とする。直線 AD, CD に接する円であって、直線 BA と A に関して B の反対側 (A は含まない) で接し、直線 BC と C に関して B の反対側 (C は含まない) で接するものが存在したとし、この円を ω とする。このとき、 ω_1, ω_2 の2本の共通外接線は ω 上で交わることを示せ。